

特別展「甦る名城 香川元太郎城郭原画展」記念講演会 復元イラストで見る日本の城

日時:10月7日(土) 13:30~15:00
講師:香川 元太郎氏(イラストレーター、日本城郭史学会委員)

特別展「甦る名城 香川元太郎城郭原画展」関連講座

講座番号① 発掘調査から見えてきた松山城の歴史と価値

日時:10月14日(土) 13:30~15:00
講師:楠 寛輝氏(松山市教育委員会)

講座番号② 今治城復元イラストを持って、まち歩き!!

募集40名 日時:11月3日(金・祝) 8:00~18:00

講師:藤本 蒼博氏(一財)今治文化振興会 今治城
参加費:5,000~6,000円(予定)
対象:小学生~一般※小学生は保護者同伴

講座番号③ よみがえる村上海賊の城

日時:11月23日(木・祝) 13:30~15:00
講師:田中 謙氏(今治市文化振興課)

特別展「瀬戸内海ツーリズム」関連講座

講座番号① ビーチコミング観察会+創作体験

募集10名 日時:2月24日(土) 13:00~16:00(予定)

参加費:300~500円(予定)
対象:小学生~一般※小学生は保護者同伴
会場:扶桑会館・扶桑海岸(予定)

講座番号② サテライト講座「大島島四国の歴史・現在・未来」

募集50名 日時:3月2日(土) 13:30~15:00

講師:松花 菜摘氏(今治市村上海賊ミュージアム)
大本 敬久(当館学芸員)
会場:今治市村上海賊ミュージアム

講座番号③ ちりめんモンスターを探せ!

募集20名 「ちりめんじゃこ」たちに混ざっているおもしろい生き物を観察しよう

日時:3月9日(土) 13:30~15:00
講師:小林 真吾氏(愛媛県総合科学博物館)
参加費:300~500円(予定)
対象:小学生~一般※小学生は保護者同伴

講座番号④ 近世の瀬戸内を旅するー「讀予日記」を中心にー

日時:3月10日(日) 13:30~15:00
講師:井上 淳(当館学芸員)

講座番号⑤ 絵でみる瀬戸内海

日時:3月16日(土) 13:30~15:00
講師:喜安 嶺氏(愛媛県美術館)

講座番号⑥ 地質からみる瀬戸内海の風景

日時:3月30日(土) 13:30~15:00
講師:山根 勝枝氏(愛媛県総合科学博物館)

歴史講座

講座番号⑥ 源氏物語講座「紫式部と藤原道長ー時代背景と皇后定子と中宮彰子の運命ー」

日時:11月25日(土) 13:30~15:00
講師:伊井 春樹(当館名誉館長)

講座番号⑦ 源氏物語講座「紫式部の少女時代と父に伴われての越前行き」

日時:3月23日(土) 13:30~15:00
講師:伊井 春樹(当館名誉館長)

古文書講座

講座番号③ 古文書からみる村上海賊 1

日時:2月18日(日) 13:30~15:00
講師:川島 佳弘氏(愛媛大学法文学部)

講座番号④ 古文書からみる村上海賊 2

日時:3月17日(日) 13:30~15:00
講師:川島 佳弘氏(愛媛大学法文学部)

民俗講座

講座番号③ 木と人間ー生物多様性と人々の暮らしー

日時:1月13日(土) 13:30~15:00
講師:松井 宏光氏(松山東雲短期大学名誉教授)

考古講座

講座番号③ テーマ展関連講座「今治平野の古墳文化を探る」

日時:10月29日(日) 13:30~15:00
講師:富田 尚夫(当館学芸員)

体験講座

講座番号⑤ 「革で作る小さなカバン、サコッシュ作り」

募集15名 日時:11月19日(日) 13:30~16:30
講師:後藤 琢郎氏(革工房ワンループ)
参加費:3,000円
対象:小学生~一般※小学生は保護者同伴



Table with 2 columns: 受講時のお願い, 申込方法, お問い合わせ. Includes details about infection prevention, application procedures, and contact info.

展示スケジュール

2023.10-2024.3

Calendar table showing exhibition dates from October 2023 to March 2024. Includes '今治平野の古墳文化' and '瀬戸内海国立公園指定90周年記念'.

ご利用案内

- 開館時間: 9:00~17:30 (入館は17:00まで)
休館日: 月曜日第1月曜日は開館、翌火曜日が休館。
観覧料: 区分別料金表

Table showing admission fees for different groups: 大人(高校生以上) 540円, 小・中学生 無料, 65歳以上 280円, 団体(2割引) 440円, 観覧無料.

※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。
※未就学児は無料です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2023.10-12

Calendar grid for October, November, and December 2023, marking holidays and events.



愛媛県歴史文化博物館 MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営: 指定管理者 いよてつ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222

【ホームページ】 http://www.i-rekihaku.jp
●発行日 令和5年8月24日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News

特別展

甦る名城 香川元太郎城郭原画展



寛永期の江戸城



松山城

令和5年 9月23日(土・祝) ~ 11月26日(日)

会場 企画展示室・文書展示室

時間 9:00~17:30 (入場は17:00まで)

特別展観覧券 大人(高校生以上) 600円(480円)
65歳以上 300円(240円)
小・中学生 300円(240円)

* () は20名以上の団体料金
* 他にお得な常設・特別展共通観覧券があります

歴史

イラスト原画 伊予甘崎城

著作(作画): 香川 元太郎 氏
監修: 中井 均 氏
初出文献: 『歴史群像』102号(学研パブリッシング)
著作年: 平成22(2010)年
法量: 縦30.5cm×横42.8cm
所蔵: 当館蔵

歴史復元イラストなどを手掛ける香川元太郎氏が描いた、伊予甘崎城(今治市上浦町)のイラスト原画は、藤堂高虎支配の頃に改修された城を推定復元したものです。近世の城として、石垣が築かれたり、瓦葺きの建物が建てられたりした様子が描かれています。

かつて、瀬戸内海の沿岸や小島には多くの城が築かれており、甘崎城もその一つで、大三島東岸沖にある小島(古城島)全体を城郭化し、南に急流の鼻栗瀬戸、北に安芸国(広島県西部)との国境を臨み、芸予諸島の要衝に位置する海城でした。戦国末期には来島村上系の村上吉継の城でしたが、関ヶ原合戦後に藤堂高虎が今治城を築き始めると同時に、安芸福島領の警戒や芸予諸島の要衝管理のため支城として改修、島の周囲に石垣を巡らせ瓦葺の建物を築くなど近世城郭化しました。元禄4(1691)年に江戸へ参府したドイツ人医師ケンペルらも、海に聳える石垣を目にしていますが、現在でもその痕跡は部分的に見ることができます。

本イラストでは、島を取り巻く石垣、枳形門があったとされる場所には櫓門、隅角部には櫓、丘陵上には館を瓦葺で描いています。甘崎城の姿は、江戸時代の絵図によって平面的にはある程度うかがうことができますが、日本城郭史学会委員を務める香川氏が歴史学の研究成果や専門家とも協力した考証を交えながら描いた復元イラストによって、立体的にビジュアル化され、よりリアルにイメージすることができます。



特別展「甦る名城 香川元太郎城郭原画展」(9月23日～11月26日)で展示予定。

(専門学芸員 山内 治朋)

歴史

『新勅撰和歌集』

年代: 文暦2(1235)年成立・江戸時代刊
法量: 縦27.9×横21.3cm
所蔵: 当館蔵



貞永元(1232)年、後堀河天皇の勅命により藤原定家が編纂した『新勅撰和歌集』は、『古今和歌集』から数えて9番目の勅撰和歌集であり、平安後期までの勅撰和歌集と比べ、仏教に関する和歌「釈教歌」が多く収録されているのが特徴です。

四国出身の空海(弘法大師、774～835年)の和歌もあり、青年期に実際に修行をした土佐国室戸岬にて「法性のむろのといへと我かすめは有為のなみ風よせぬ日そなき」と詠んでいます。「法性」(仏教の真理)や「無漏」(煩惱の無い状態。室戸の掛詞)という仏教語や、波風を「有為」(変化する現実世界)と表現し、まさに仏教的視点で自身の修行の様子を表現しています。

空海が活躍した800年代に自らが和歌を詠んだ確実な史料は確認できませんが、同時代には百人一首に選ばれる小野篁がいて、その父・岑守と空海とは交流が深く、和歌をたしなんでいた可能性もあります。

なお、文保2(1318)年成立の『続千載和歌集』にも空海の和歌が採録されています。真如親王(平城天皇の子・空海の弟子)が訪れてきた返歌として「かくばかり達磨をしれる君なれば陀多調多まではいたる也けり」とあります。同じ歌は平安末期成立の『弘法大師御行状集記』にもあり、やはりこの時期以降、様々な空海伝の成立とともに、空海が詠んだとされる和歌が取り上げられるようになったのだと考えられます。

国立歴史民俗博物館(千葉県)にて特集展示「四国遍路・文化遺産へのみちゆき」(9月26日～2月25日、当館も共催)にて、当館所蔵の四国遍路資料を展示予定。

(専門学芸員 大本 敬久)

特別展

「甦る名城 香川元太郎城郭原画展」

令和5年9月23日(土・祝)～11月26日(日)

会場 企画展示室、文書展示室

迷路・かくし絵の絵本作家で知られる香川元太郎は、歴史考証イラストの第一人者としても有名です。日本城郭史学会委員を務める香川氏は、歴史学の研究成果を踏まえ、専門家とも協力して考証を加えながら、日本の城郭の復元イラストを描いています。

香川氏は、愛媛県出身で松山東高校を卒業後、武蔵野美術大学に進み、その後、歴史考証のイラストや迷路・かくし絵の絵本を次々と手掛け、城郭の復元イラストを数々の出版物に掲載されています。細部にこだわったこれらの作品は、実際に使われていた当時の城の姿を見事にビジュアル化し、分かりやすくイメージさせてくれます。今年4月には、長年にわたる膨大な戦国時代の山城イラストの制作実績が評価され、日本城郭文化特別賞を受賞されました。

本展では、近年制作された「松山城」「今治城」など愛媛県内の城郭をはじめ、全国各地の城郭を描いた作品を紹介するとともに、県内の博物館、資料館のために描き下ろした伊予河野氏や村上海賊の歴史を物語る作品もあわせて展示します。精密に描写された香川元太郎の世界をお楽しみください。

- 全国の城郭を描く● 北海道から沖縄にいたる全国の城郭原画75点を地域別に展示。
- 愛媛の城郭を描く● 松山城、今治城、湯築城、能島城、来島城、甘崎城などを展示。松山城、今治城については復元の時代考証に用いた歴史資料も含めて展示。復元イラストがどのようにつくられるのか、その過程も含めて展示。
- 河野氏と伊予の水軍の歴史を描く● 中世の伊予の有力領主であった河野氏と、瀬戸内海で活躍した村上海賊ほか伊予の水軍に関する歴史復元イラストを展示。



能島城 今治市村上海賊ミュージアム蔵



今治城 今治城蔵



豊臣時代の大阪城

友の会よりお知らせ

10月1日より友の会に入会いただく場合は、会費が半額になります。18歳以上の個人会員なら3000円▶1500円です。会員の資格は、会費を納入した日から、その年度の3月31日までです。10月1日以降に開催される友の会主催の会員限定の行事にもご参加いただけます。常設展・特別展への入場が無料。ワークショップなどの材料費が割引となります。博物館の刊行物が割引価格で購入できます。ぜひこの機会にご入会ください。お問合せ先: 友の会事務局

0894-62-6222



開館記念日イベントのご案内

11月12日(日)に開館記念日イベントを開催します。今年で開館29年目!

11月12日は常設展・特別展が無料でご利用いただけます。また昨年に引き続き「どんぐりマルシェ」を開催します。マルシェでは、南予地方の特産品や食品、手作りのかわいいアクセサリーや小物があつまります。皆さんぜひ博物館へお越しください!

11月12日
常設展 無料
特別展 無料



れきはくのおしあと

7月22日から「れきはくお化け屋敷」が始まりました。平成30年以来5年ぶりの開催です。さらに区切りの良い10回目。「今年はお化け屋敷やりますか?」というお問い合わせもあり、楽しみにされているお客様の多さを開催前から実感いたしました。

しかしお化け屋敷をいざ運営してみると、驚かすタイミングに大苦戦。お化け屋敷を経験している先輩に教えていただきましたが、実際にやってみると一筋縄ではいきません。タイミングが早かったり遅かったりを繰り返し、少しずつ良いタイミングを掴んでいきました。

また、今年は近隣の高校生のボランティアの募集も復活し、たくさん的高校生がお手伝いに来てくれました。お化け屋敷やワークショップの運営の補助など大変助かりました。これからも「歴博らしさ」を大切にしながら、ご来館されたみなさまに楽しんでいただけるイベントを企画してまいります。

